

たかしま 市民協働交流センター だより



高島吹奏楽倶楽部 月組 “スプリングコンサート 2012” 賛助演奏で出演 (提供: 高島ガイド)

“たかしま市民協働交流センターだより” について

たかしま市民協働交流センターは、今津東コミュニティセンター内にある、市民活動の中間支援センターです。

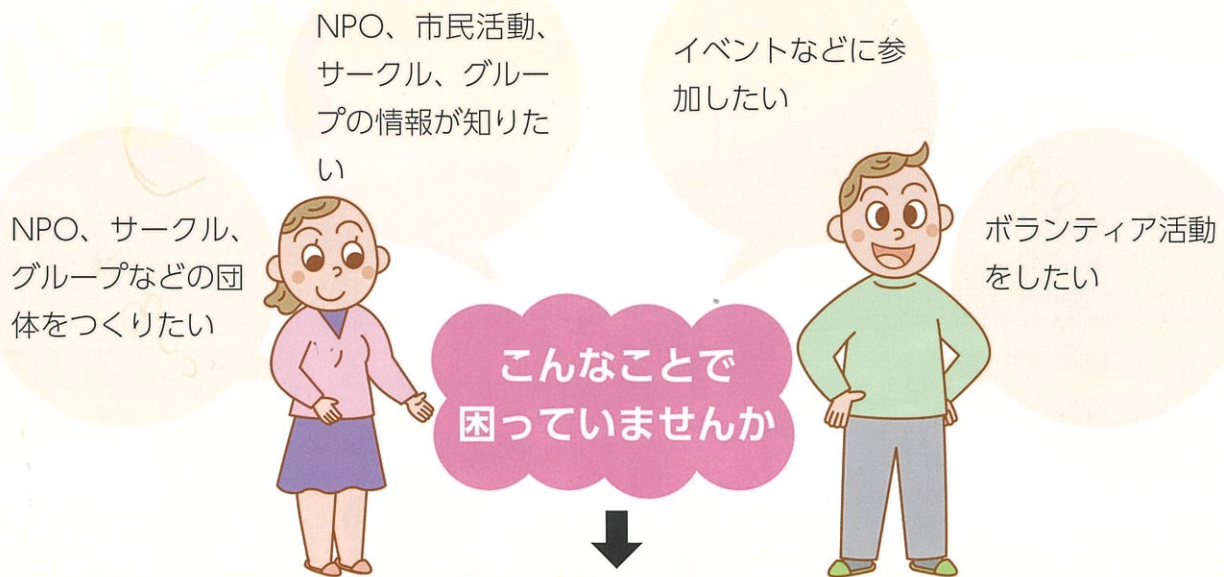
3月までは【たかしまウォッチ】という名前でしたが、よりわかりやすくシンプルにと名称を新しくしました。みなさんに新しい発見と市民活動の魅力をお届けします。

16号

2012. 4・5・6月号

ご存じですか??

たかしま市民協働交流センター



たかしま市民協働交流センター

- 小さな力でも地域を変えられることを信じて、様々な活動を支援します。
- 地域づくり、まちづくりの新しいアイデアを実現するためにお手伝いします。

利用者団体談話室

「LALALA カフェ こみにて♪」がOPENしました!!

利用者の方に気軽に交流、談話を楽しんでもらえるようにと日々明るく元気なスタッフがお待ちしています!! 今後は、コンサートやネットカフェなど楽しい企画もたくさん考えています。皆さんのアイデアを持ち込んで頂いて、新しい出会いに繋がしましょう!! 是非お立ち寄りください!!



場所 / 今津東コミセンロビー内

OPEN / 10:00 ~ 15:30

お休み / 土・日・祝日

いまづ自然観察クラブ

代表 村田龍嘯さん

いまづ自然観察クラブの発足は2005年、「家族旅行村ビラデスト今津」の開村時、自然観察講座があり、その受講生が中心となり活動し始められました。また、その講座で講師をしていた松見茂さんが現在まで顧問として関わられています。

「家族旅行村ビラデスト今津」を活動の拠点とし、今津地域の自然を勉強し、それを人に伝えられるようになることを目的に活動しています。毎月の定例会やウォークイベントガイド、カキツバタのシーズン前には、観光客の安全と周りの環境保護の為に遊歩道整備もしています。



歩道整備中の様子

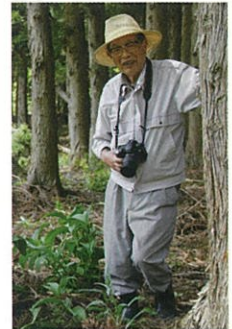
している。高齢となったが、自分の持っているものを皆さんに伝えることが自分の役目だと思う。

【顧問の松見さんのお話】

今の子供たちに昔自分たちがしていた遊びをさせてあげたいが、川に入って遊ぶことが危なくなり、自然の中で思う存分に遊べなくなっている。少しでも何かできればという思いで活動



杭打ちの様子



松見 茂さん

千年桜の会

会長 澤田雅明さん

高島市合併後、発足した朽木地域まちづくり委員会で“朽木渓谷の再生と桜街道づくり”を提案したことをきっかけに、桜のある景観を守り育てていこうと有志で“千年桜の会”をつくられました。朽木大野から荒川間にある桜の定期的な手入れと清掃活動、桜まつりの開催などに取り組まれています。

特に力を入れているのが、“桜ウエル”と名付けた、朽木のこどもたちとの植樹活動です。毎年こどもたちと一緒に朽木渓谷に山桜を植樹し、記念碑を建てています。「こどもたち自身が植樹することで“僕たちの桜”と実感できます。桜や渓谷など、朽木の自然そのものに愛情を持ってほしいです。」と会長の澤田さん。

ソメイヨシノでなく、成長の遅い山桜を選んだのには理由があります。植樹した時に小学生だったこどもたちが中学校を卒業し朽木を出る頃には、山桜もきれいに咲きそろいます。そんな自分達が植えた山桜を背景に卒業写真を撮って、思い出に残ればという願いが込められているのだそうです。「将来、朽木を出ることになっても、朽木は桜の美しい故郷だと誇りに思ってもらいたい。」という、朽木と朽木のこどもたちを愛する気持ちが“桜ウエル”の活動の根底にあります。

澤田さんは「“千年桜の会”という名前には、朽木渓谷を山桜でいっぱいにし、百年先、千年先まで守り続けたいという思いを込めています。同時に、この朽木への思いをこどもたちに受け継いでほしいとも思っています。」と熱く語られました。



朽木・本陣ロード 満開の桜



小学生の植樹体験“桜ウエル”の様子。7、8年後にはこどもたちの成長にあわせて山桜も花盛りに。

NPO 法人麻生里山センターは、2006 年より朽木・麻生地区にある「森林公園くつきの森」を指定管理者として運営されています。同時に、市の委託事業である「高島森林体験学校」と県の森林税を利用した「森林環境学習やまのご事業」を受託し、市内および朽木の自然を活かして活動しています。

甲子園球場の約 4 2 倍の広大な面積のくつきの森は「森林セラピー基地」にも認定されており、ハイキングコースはセラピーロードの一つとして認定されています。1 周 2 時間のコースや、30 分のコースなど全 5 種類が整備されています。また、それぞれのコースを案内してもらえる「森案内ガイド」や、「セラピーガイド」（有料・要予約）で、くつきの森をより楽しむこともできます。



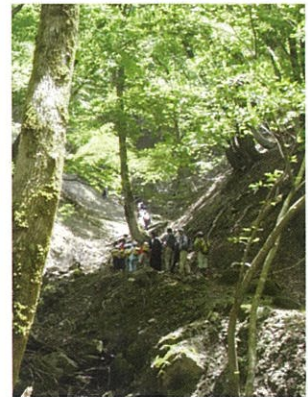
くつきの森オススメスポットのユリの木広場。



セラピーロードにはこんな場所も…

7 年目を迎える今年はいくつかのイベントが予定されており、その中でも一押しなのが「くつきの森ビギナーズ 1 2」。毎月第 2 土曜日に行われ、各回テーマごとに専門の講師を招き観察とハイキングを楽しむことができます（参加費：500 円 要予約）。その他、参加者でピザ窯を作り、仕上がった窯でピザを焼いて楽しむ「ピザ窯体験」や散策とヨガを組み合わせた「森の癒し体験」、山のめぐみについて考えながら夕食会と音楽会を楽しむ「山のめぐみフォーラム」なども予定されています。

高島森林体験学校では、山村地域の活性化を目的に間伐体験などを中心とした体験学習や、企業研修を受け入れ指導されています。観光や体験等の一時的なものだけではなく、産業として次につながる活動をという思いで



登山の様子

企画された「親子で作る学習机」では、木材の切り出しから自分達で行い約半年をかけて学習机を作るという貴重な体験ができます（8 月 26 日から来年の 3 月まで全 4 回）。その他、婚活イベントや、炭焼き体験もあります。

コーディネーターの古堅さんは「昔から山村・森林のもとで人々が生活してきた姿が失われつつある今、自然の恩恵をうけて共存してきた姿をもう一度思い出してほしい。都会の方だけでなく地元の人にも今の山や自然の状態に関心を持ってほしい。」と話されていました。



スタッフの皆さん



子どもは木登りもできますよ！

NPO 法人麻生里山センター

〒520-1451 滋賀県高島市朽木麻生 443

TEL : 0740-38-8099 FAX : 0740-38-8012

MAIL : asosatoyama@zb.ztb.ne.jp

※自然環境維持管理費として 200 円をお願いしています。

高島吹奏楽倶楽部 月組 代表 駒井岳夫さん

吹奏楽を愛するこどもを育て、高島市での音楽のすそ野を広げたいと2年前にはじめられました。「地域No.1バンドを目指してがんばっています」という皆さんを訪ねました。

月組には、こどもの指導と育成という目的のもと、「月組A K B」という仕組みがあります。A：アダルト（社会人） K：研修生（大学生から専門学校生） B：ベイベー（中高生）です。アダルトが研修生とベイベーに指導するのはもちろん、研修生も教えられる立場からベイベーに教えることを覚え、ベイベーはおとなのアダルトと、少し年上の先輩に見守られています。いろんな年齢のメンバーと一緒に練習することで、「若いメンバーはおとなの音を聞いて刺激をうけ、おとなも教えることでうまくなる」そうです。

駒井さんは「メンバーには、本当に音楽が好きで、楽しみながらも真剣に、やるからにはうまくなるとういう気持ちを持った人が集まっています。おとなはこどもを思う気持ちを持って、真剣に育てています。こどももその気持ちを受けて一生懸命練習しています。指導は厳しくても、仲間を何より大事にしています。相手を思いやる気持ちが音をつなぎ、いい音楽になるからです。」と話されました。

授業が終わってから途中参加した大学生は、「大変だけど楽しいです。中高校生とは違うおとなの音が聞けるので勉強になるし、成長できます」と笑顔で話していました。



A→B 指導中。



4月15日“第33回定期演奏会
“スプリングコンサート2012”
で演奏しました

演奏依頼お待ちしております！

ご連絡は、代表 駒井 TEL：0740-32-4567（ぱあ亭）まで

巨木と水源の郷をまもる会 代表 青木 繁さん



トチノキを含む源流の森の保存活動に取り組まれています。

活動のきっかけは、約2年前に朽木のトチノキが大量に切られて売りに出されたことでした。伐採の先にあるトチノキの市場や流通の存在に危機感を持ち、「この流れを止めなければ」と会を結成されました。地域住民、林業家、研究者、学生、自然保全に興味のある団体など、約50人の関心のある人たちと活動されています。

詳しい調査で、森にはまだ300本近くのトチノキがあることがわかりました。「水の源、山を支えるものというだけでなく、トチノキはこの土地のシンボルであり、地域の宝です。それを守りたい」と代表の青木繁さん。

保存活動に加えて、地域の活発化を考えられています。今年4月には『第1回びわ湖源流の森づくり』を行い、新旭町針江周辺でトチの苗木とくるみの種子の植えつけをされました。今年の秋にはトチノキ祭りをする予定があり「皆が一つになって活動の盛り上がりをつくっていききたい」と先を見据えた計画を立てています。公益性のある活動を長く続けていけるよう、社団法人の立ち上げを視野にいれています。

青木さんは「森づくりはこの先何世代にもわたって続く活動です。特に今のこどもたちに森の源流や山の自然に目を向けてほしい。森の近くの人だけでなく、下流を含む幅広い地域での協力が必要です。いろんな世代のいろんな人たちに関わってもらいたい」と話されました。

BIWAKO おそうじ隊

代表 石原立憲さん



新旭町針江浜近くの人たちが、琵琶湖の汚さやゴミの多さを残念に思い、2011年7月から『BIWAKO おそうじ隊』をスタートさせました。新旭町湖周道路沿いを毎週火曜日8時から掃除されています。

去年に太田の琵琶湖沿いから始めた掃除は、回ごとに北へ向かっているのですが、ゴミの量が多すぎて一回の掃除で25mほどしか進むことができません。というのも道路沿いの掃除だけではなく、浜辺や水際、ゴミがあれば琵琶湖の中まで入って掃除されるからです。長靴にゴムエプロン姿で熊手を持参し、膝まで浸かって水底に沈んだゴミを引っ張り出します。ペットボトルや空き缶のほかに、肥料袋や

ブイ、ロープ、タイヤや衣類まで捨てられていました。

新旭の湖周道路沿いには、菜の花畑や約6km続く桜並木、緑いっぱいの湖畔が広がります。足を止めて写真を撮られる姿もよく見かけます。けれどもその琵琶湖の水際はゴミにあふれていて顔をしかめるような臭いがしています。

代表の石原さんにお話を伺いました。「皆ここが好きで、琵琶湖が汚れているのが嫌だから綺麗にしようかと集まった人たちばかりです。仲間と会える場でもあるので、しゃべりながら楽しく気楽に続けています。周りの人にもこの気持ちが広がり、皆が参加して一緒にきれいにしていけたらと思っています。」あなたも一緒に琵琶湖をきれいにしませんか。

今津墨絵クラブ 代表 渡 桂吉さん

毎月第1・第3水曜日の10時から15時まで、今津東コミセンで、先生の指導のもと和気あいあいと活動されています。墨絵は白い紙に7種類ある墨の濃淡で表現します。メンバーに墨絵の魅力を聞くと、「写真とも文字とも違う奥の深さです。郷愁的な日本らしさを感じられ、見ていると気持ちが落ち着きます。」とのこと。墨絵クラブについて「皆が親切で温かいです。年齢の幅も広いなか、お互いに教えあって楽しく活動しています。」と話されました。

5月17日から26日に、今津東コミセンで作品展『楽しみの水墨画展』が催され、ロビー一面に美しい作品が並びました。クラブの皆さんも来訪者に説明され、作品を囲んで語らう姿も見られました。



作品展での一コマ



“墨絵が好きという気持ちが一番”とメンバーの皆さん

県立朽木いきものふれあいの里

朽木いきものふれあいの里では、豊富な朽木の自然のなかで、小・中学校の遠足や子ども会、野鳥の会などを対象に自然のガイドをされています。屈折望遠鏡を自分で作って行う星空観察や虫の冬支度を観察するもの、キャンドルを作り雪灯ろうを楽しむなどそれぞれの専門家を招いて行う企画が多数あり、施設にある剥製や展示物を企業や他の施設のイベントで展示する出張サービスなどもあります。スタッフの方は「体験を通して参加者それぞれが自然について感じてもらえれば、自然を好きになって、気持ちよく過ごしていただければ嬉しい。」と話されていました。



施設内中央には森の中を再現した展示スペースがある

さくら守隊

(トンボとその仲間たち)

代表 大石 幸夫 さん

新旭地域の湖周道路沿いに植えられた桜で、5、6年前から衰弱し花の咲かない木が増えました。手入れの必要性を感じた深溝浜近くの仲間が集まって「トンボとその仲間たち」(95名)を作り、その中で桜の手入れグループとして「さくら守隊」を作られました。

現在、新旭地域の湖周道路には654本の桜があり、すべてに番号札を付けて手入れされています。毎年4月の決まった日に桜の開花調査をし、過去と比較して手入れの成果を詳しく調査。桜は繊細なので、施肥、虫の駆除、枝切りなど、樹木医の指導のもと定期的に世話されています。今年の開花調査では例年より良い状態だとわかり、参加された方は「手をかけるごとに、自分のこどものように桜が可愛く大事だと思えます。」と笑顔で話されていました。



開花調査に集まった皆さん



枝ぶり、幹の高さなどを詳しく測ります

花咲かじいさんこと

澤田 清さん

9年前よりJR近江今津駅東側から今津港に続く道に花を植えはじめ、以来通る人に癒しを与えてくれる澤田さん。警察署近くの天川の土手にポピーやコスモスを植え、通る人の心が和むということから始まったそうです。春はパンジーやチューリップ、夏にはサルビアやベコニアのように季節の花を並べて、通行人や観光客の旅の思い出に一役かっています。

澤田さんは「きれいな花を見て嫌な思いをする人はいない。みんな笑顔になる。笑顔になると悪いことはしないよ。」と話されます。現在、一緒に活動してくれる方を募集中とのこと。



今津東コミセンにも澤田さんが色とりどりの花を届けてくれています。

乙女ヶ池を美しくする会

代表 長濱 洋 さん

2010年3月から、高島勝野にある乙女ヶ池の清掃活動をされています。

高島地域まちづくり委員会の活動を考える中で、目を向けたのが乙女ヶ池です。まちづくり委員を中心に、病院に来院した人を癒す場所にしたいと「乙女ヶ池を美しくする会」を設立されました。メンバーは、高島地域まちづくり委員会(現在11名)を中心にいくつかの団体や個人が集まり、毎月第1土曜日の8時から掃除されています。代表の長濱洋さんは「まずは手で拾えるものからと始めましたが、徐々に各自が道具を持参するなど、自分たちがきれいにするという気持ちが生まれました。清掃活動とともに私たちが守る池という意識が広まり、皆が池を美しくするようになればと思います」と話されました。



6月の参加者の皆さん。景色も美しく、散歩コースとしても人気です

朗読劇団 ムサシ

代表 森本 純一 さん

5月20日に高島ガリバーホールで朗読劇団ムサシが昨年に続いて公演を行われました。1部では「^{どんたいちはじめ}富田一の世界」として高島在住の方が3つの物語を朗読をされ、2部では「高島人。その歴史の源流を訪ねて。」として「壬申の乱に生きた人々」を取り上げられました。1340年前に起こった三尾の城の戦い、地域の人と外から来て根付いた人が、災害や米作りなどに立ち向かっていく「高島人」の様子を朗読で表現され、150名もの観客を魅了しました。代表の森本さんは「次は安曇川にゆかりのある奈良時代の吉備真備(きびのみまきび)を題材に公演を行いたい。」と次回公演に向けて意欲を示されていました。



第2回公演出演者の皆さん

『青空婚活 夏』参加者募集！ 鹿肉バーベキューとフリートーク

朽木のキャンプ場「平良ふれあいセンター」が地元・平良集落の活性化のために婚活イベントを開催されます。自然やアウトドアが好きな人におすすめです。

日時：7月7日（土）10：00～15：30
場所：高島市朽木平良 86 平良ふれあいセンター
お問い合わせ：平良ふれあいセンター（担当：越道さん）
TEL 090-1522-0343

詳細は <http://www.e-toko.com/bluesky2012.htm>
をご覧ください。

「羽釜」 ありませんか??



安曇川を拠点に活動されている NPO 法人 どっちんクラブ（代表 横塚さん）さんでは「羽釜」を探しておられます。羽釜に合わせて土台を作り、かまどとして利用します。昨年の「産業フェア&そばフェスタ」でも、どっちんクラブで作った移動かまどで地元産米を炊いて振る舞いました。

羽釜を提供していただける方は、たかしま市民協働交流センターまでご連絡ください。



羽釜はがま

詩集「奥琵琶湖の細波」

マキノ町の真田かずこさんが詩集「奥琵琶湖の細波」を発行されました。「以前からびわ湖が大好きで、5年前に夢がかなってマキノに住むようになりました。よし笛作りがきっかけで“高島はまよし笛の会”を立ち上げたり、“高島万葉の会”に参加して歌碑をたてる活動に加わったりと、高島での日々を楽しんでいます。」

詩集の売り上げから、淡海ネットワークセンターの『びわ湖の日基金』へ寄付されることになりました。詩集は交流センターでも購入いただけます。

※『びわ湖の日基金』…淡海ネットワークセンターで設立された基金。市民による琵琶湖と琵琶湖につながる河川、森林、生活にかかわる環境保全活動と調査活動、びわ湖の日に関連した環境保全活動と啓発活動に助成されます。



市民活動フェスタ 11月10日（土）開催決定！ 参加団体募集中！

高島市内で活動する各種団体が、発表やワークショップ、サロンでの情報交換など、情報発信と交流を目的に集まります。

“発表の場がほしい”“広報で悩んでいる”など、日頃考えていることを皆で共有し、11月10日のフェスタに向けてアイデアを出し合って作り上げていく予定です。

参加団体を募集していますので、たかしま市民協働交流センター（20-5758）まで気軽にお問い合わせください。

たかしままちづくりセンター

びれっじ1号館に、地域（旧高島町）のまちづくりの拠点として4月25日に設立されました。びれっじ2号館にあった交流サロンをこのびれっじ1号館に移し、これまでの内容をより充実させていきます。

来訪者に高島地域を紹介するほか、「地元の人がまちの良さに気付くきっかけを提供したい」と、身近な地域での情報を受け入れ、発信していきます。

交流の場となるサロンコーナーと、地域で作られた雑貨をまちの資源として発信する販売コーナーを設けています。

9：00～17：00
高島市勝野 1400
TEL：0740-36-1778



“風と土の交響 in 琵琶湖高島 2012” 12月7日（金）8日（土）9日（日）開催！ サポートスタッフを募集します。

高島市に住まう造形作家の暮らしや、ものづくりをめぐる催し“風と土の交響 2012”のスタッフを募集されています。スタッフの登録は、特定非営利活動法人結びめ（代表 澤村さん）のHPから、もしくは直接お電話で。

お問い合わせ：特定非営利活動法人 結びめ
TEL：090-5014-1600
詳しくは風と土の交響HPをご覧ください
<http://www.musubime.tv/>



掲示板への掲載をご希望の方は下記までご連絡をお願いします！お気軽にお問い合わせください♪

編集後記

4月から新体制となりスタッフも一新。まずは顔を覚えてもらおうと市内で活動されている団体を回らせていただきました。たくさんのお話を聞かせていただいた中でいつも感じるのは、目的や活動は違えど皆さん「高島愛」を大切にされていることです。

高島が大好きな皆さんの活動をもっと多くの人に知ってもらい、活動の後押しができればという思いで取材しました。

これからたくさんの「高島愛」を届けていきたいと思ひます。(H)

発行／たかしま市民協働交流センター

(2012年7月発行)

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼 1-4-1
(今津東コミュニティーセンター内)
TEL 0740-20-5758 FAX 0740-20-5757
開館時間／9時～17時
休館日／土・日・祝日



この印刷物は、古紙パルプを配合した再生紙と大豆油インキを使用しています。